

ほにゅうるい 高知県の哺乳類

【現 状】

人による移入種を除き、過去 50 年間で高知県に生息が確認されている哺乳類は、7 目 16 科 37 種です（表 1）。このうち高知県レッドデータブックでは、カワウソおよびツキノワグマが絶滅危惧ⅠA 類、ヤマネが絶滅危惧Ⅱ類、ニホンリス、ニホンモモンガおよびカモシカが準絶滅危惧としてそれぞれ掲載されています。



写真 1. ヤマネ
家の中に入り込んでくることもあります。



写真 2. カモシカ
特別天然記念物第一号です。



写真 3. テングコウモリ
高知県での情報は、わずかです。

高知県は県土の 84% が森林となっていて、この割合は日本で最も高いです。しかしながら、その内スギやヒノキなどの人工林が占める割合は 66% となっています。ツキノワグマ、ヤマネ、ニホンリス、モモンガおよびカモシカはいずれも森林に依存している種です。これらの種が現在のような生息状況に至ったことと、高い人工林率は関連が深いと思われる。高知県レッドデータブックには情報不足種として、シントウトガリネズミ、アズマモグラ、ヤマコウモリ、テングコウモリおよびオヒキコウモリが掲載されています。なお高知県レッドデータブック発行以降に、チチブコウモリとコテングコウモリが 2005 年に、ノレンコウモリが 2008 年にそれぞれ確認されています。

【変 化】

カワウソは、旧佐賀町（現、黒潮町）の海岸で本種特有のタール便が 1994 年に確認されたのを最後に、生息情報は途絶え、日本国内での生息記録は高知県が最後となっています。生体の目撃情報は現在でも西南地域の海岸、四万十川上流域および仁淀川河口域などで時々報告されますが、いずれも単発的な情報で確実な生息記録として認めるには困難な状況のものばかりです。なお、本種は環境省レッドデータブックにおいても絶滅危惧ⅠA 類に、また国指定特別天然記念物に指定されています。



写真 4. ツキノワグマ
豊かな森の象徴ですが、四国では絶滅が心配されています。

ツキノワグマは、最近では高知県と徳島県にまたがる^{つるぎさんさんけい}剣山山系からしか情報が得られなくなっています。しかしながら、当該^{とうがい}地域では自然繁殖^{しぜんはんしょく}が確認され、世代^{せだい}の更新^{こうしん}が行われていることが確認されています。なお高知をふくむ四国地域では、本種による人身被害はこれまでに報告されていません。本種は四国山地^{しこくさんちこたいぐん}個体群が、環境省レッドデータブックにおいて保護すべき^{ちいまいこたいぐん}地域個体群とされています。

【人との関わり】

個体数が増加し人間と軋轢^{あつれき}が生じている種として、イノシシ、ニホンジカおよびニホンザルがあげられます。



写真5. イノシシ
海岸線から高い山まですんでいます。



写真6. ニホンジカ
高知県では分布が広がってきています。



写真7. ニホンザル
畑に現れ、作物を持っていてしまいます。

イノシシは、ほぼ県内全域に分布し、^{すいとろ}水稲やイモ類などの農作物への^{しょくがい}食害のほか、^{はかいし}墓石や^{いしがき}石垣を崩すなどの被害を出しています。

ニホンジカは、高知市周辺の県中部には少ないものの、剣山山系を中心とした東部地域や四万十川上流域である旧西土佐村（現、四万十市）を中心とした西部地域では^{のうさくもつひがい}農作物被害、^{しょくりんぼく}植林木への^{じゅひは}樹皮剥ぎ被害などのほかに自然植生への^{しょくあつ}食圧が高まり、とくに^{りんしょう}林床の^{そうほんるい}草本類や^{じだい}森林の次代を^{じやくれいぼく}にやう若齢木への影響が深刻になってきています。

ニホンザルは、上記2種に比べれば被害の範囲は限られていますが、^{こうれいしゅ}高齢者が多い集落の耕作地などでは本種による農作物被害が大きく、^{えいのつういよく}営農意欲を失い^{りのう}離農する農家が出始めています。

本州および九州とは海で隔てられ、^{へん}地理的に^{かくぜつ}隔絶された地域である四国にも、人によって移入された^{がいらいせいぶつ}外来生物が多く確認されています（表2）。このうち、^{ていちやく}野外での繁殖が確認され、本県に定着していることが確認されている種は、チョウセンイタチ、ハクビシン、ドブネズミ、クマネズミ、ハツカネズミです。これらの種に関しては、今後^{しょうきょう}状況把握のための^{けいそくてき}継続的なモニタリング調査を実施すること、場所によっては^{こんぜつ}根絶のための^{くじょしきく}駆除施策を講じる必要があると考えます。



写真8. 外来生物であるハクビシン
江戸時代の書物に記録があり、日本にはかなり早い時期に連れてこられたようです。最近の遺伝子の研究によって、日本のハクビシンと同じタイプの遺伝子を持つハクビシンが台湾にもいることがわかりました。ミカンや柿、梨などの果物を食べます。高知ではしゃぶしゃぶや焼肉にして食べられています。

表1. 高知県で確認されている哺乳類

目	科	種	
食虫目	トガリネズミ科	シントウトガリネズミ	
		ニホンジネズミ	
	モグラ科	ヒメヒミズ	
		ヒミズ	
		アズマモグラ	
翼種目	キクガシラコウモリ科	キクガシラコウモリ	
		コキクガシラコウモリ	
	ヒナコウモリ科	モモジロコウモリ	
		ノレンコウモリ	
		イエコウモリ	
		ヤマコウモリ	
		チチブコウモリ	
		ユビナガコウモリ	
		テングコウモリ	
		コテングコウモリ	
	オヒキコウモリ科	オヒキコウモリ	
	霊長目	オナガザル科	ニホンザル
	食肉目	イヌ科	キツネ
			タヌキ
		クマ科	ツキノワグマ
イタチ科		テン	
		イタチ	
		アナグマ	
カワウソ			
偶蹄目	イノシシ科	イノシシ	
	シカ科	ニホンジカ	
	ウシ科	カモシカ	
齧歯目	リス科	ニホンリス	
		ムササビ	
	ネズミ科	ニホンモモンガ	
		スミスネズミ	
		カヤネズミ	
		アカネズミ	
		ヒメネズミ	
		ヤマネ科	ヤマネ
	兎目	ウサギ科	ニホンノウサギ
	7目	16科	37種

表2. 高知県で確認されている国外移入種

目	科	種	外来生物法での別
有袋目	クスクス科	フクロネズミ	特定外来生物
食虫目	ハリネズミ科	ハリネズミ sp.	特定外来生物
霊長目	オナガザル科	アカゲザル	特定外来生物
	オマキザル科	リスザル	要注意外来生物
食肉目	アライグマ科	アライグマ	特定外来生物
		イタチ科	チョウセンイタチ
	ジャコウネコ科	アメリカミンク	特定外来生物
		フェレット	要注意外来生物
		ハクビシン	指定なし
		タイワンリス	特定外来生物
齧歯目	リス科	タイリクモモンガ	特定外来生物
		シマリス	要注意外来生物
		ネズミ科	ドブネズミ
	クマネズミ	指定なし	
	ハツカネズミ	指定なし	
	ヌートリア	特定外来生物	
	5目	9科	16種